

ニュースレター

2003 年度総会特集号

飯高の豊かな自然に囲まれて・・・太鼓の響きがこだまする

三重オーストラリア・ニュージーランド協会第5回定例総会および日本ニュージーランド協会中部協議会が5月24日(土)・25日(日)に飯高町林業センター、グリーンライフ山林舎、ホテルスメールなどで開催されました。5組(個人3名と2家族)の方が新会員として入会を承認されました。岡田文化財団の助成をはじめ、多くの皆様の暖かいご協力により、タスマニア大学タイコ・ソサイアティに和太鼓を贈る運動のご寄付は、7月23日現在829,450円となっております。なお、事業、会計、タスマニア旅行計画については後のページを御覧下さい。

《総会の内容》13:30～

会長あいさつ、新入会員の承認、役員体制について、
2002年度決算案と2003年度予算案について、2002年度事業等報告と2003年度事業等予定案について



《イベントの内容》15:00～

1. あいさつ(伊藤副会長)
2. 和太鼓演奏：飯高清流太鼓保存会とスティーブンさん(タスマニア出身)
3. 三重県立松阪工業高等学校創立100周年記念「オーストラリア研修旅行」
富田正宏先生、平野真希さん(全日制自動車科3年)、津村奈央さん(定時制普通科4年)
4. ウェリントン紹介 ダンカン フレックさん(ウェリントン出身)
5. タスマニア大学調査随行秘話 三重大学人文学部OB・OG
田中宏和、古野素子、堀真由子、増田芳則、松永潤一さん
6. 中部協議会(富山、名古屋、飛騨高山の各協会)による挨拶(自己紹介)
イベント「とどけ!和太鼓、タスマニア」では、創立11年目の飯高清流太鼓保存会9名による『清流ながれ打ち』の演奏で、清流の流れ、山の広がりを感じ、タスマニア出身のスティーブンさんの和太鼓演奏にタイコを通しての交流が続いていくことを祈りました。



三重大学人文学部卒業生によるタスマニア大学調査随行秘話報告では、03/2/5-12に宮本先生(当協会会長)の調査研究に随行し、タスマニア大学を訪れ、道に迷って不審人物に間違えられたが、事情が分かると現地の人はとても親切だったという話や、大学

のバリアフリー、コアラやタスマニアデビルのいる動物園、ポーターサーなど観光の話が語られました。

なお、松阪工高オーストラリア研修旅行記とダンカン・フレックさん(飯高町外国語助手として3年間在籍、7月異動、NZウェリントン出身、イギリス生まれ)のスピーチの一部を後のページに載せました。





《懇親パーティーの内容》 18:00~

- 1.開会の辞(井ノ口副会長)
- 2.宮本飯高町町長 歓迎挨拶
- 3.中部協議会(静岡、岡崎の各協会)による挨拶(自己紹介)
宮本会長より欠席の静岡市、浜松市の各協会の紹介
- 4.オーストラリアのABCテレビが自宅で(KKムラカム)
- 5.大いに語る シャクナゲの旅 天野宗次・美保子 北出勲 増田進一 増田陽一 宮本由紀子(司会 宮本忠)

6.お隣の飯南町国際交流課レイズさん(オーストラリア人)のスピーチ

18時からの中部協議会との懇親パーティーでは、おいしいお酒と食事と飯高町の空気に楽しいおしゃべりの花が咲きました。



宮本飯高町町長・ホテルスメール社長の歓迎挨拶では、NZと飯高町の関わりについて、ローラーリュージュを取り入れたこと、ALT(外国語助手)に来てもらっていること、小学校間の交流が進んでいることなどが披露されました。

シャクナゲの旅報告では、写真を回覧しながら、NZのシャクナゲは鮮やかなショッキングピンクや赤紫色で、日本より木が大きい話、安いモーターに泊まり、ダブルベットがトランポリン状態だった話、クライストチャーチではくれた話(老眼と英語が話せないのは哀しいという話)などに、「クライストチャーチには ハグレー公園 という公園がある」なんてツッコモ入り、会場が大いに盛り上がりました。



25日(日) 日本ニュージーランド協会中部協議会
終了後、飯高町の山林自然散策

2003年度役員およびオフィス担当者

- 【総括オフィス・グループ】 会長(宮本忠)・秘書(宮本由紀子)・副会長(伊藤俊一)・副会長(井ノ口輔ひろ)・会計(井ノ口節子)・;監事(若林祥男)
- 【教育広報オフィス・グループ】 教育(畠山義啓)、会報編集印刷(梶美保・坂野徹)・管理保管(米倉芳周)
- 【事業オフィス・グループ】 生活(大野福代)・経済(ジェットロ三重)・自然(宮川村)・スポーツ(飯高町)・ショート ロング ステイ (増田陽一)

オフィスEメール・アドレス等

オフィス担当一覧 (注) はグループ・リーダー

【総括オフィス・グループ】	
会長(宮本忠) 秘書(宮本由紀子)	副会長(井ノ口輔ひろ)
Eメール ty1005@mecha.ne.jp	会 計(井ノ口節子)
電話&fax 0593-68-2112	Eメ-ル aoy2fizo@ztv.ne.jp inoguti@jinkennet.gr.jp
住所 〒510-0226 鈴鹿市岸岡町2626の95	電話&fax 059-231-4785
副会長(伊藤俊一)	住所 〒514-0061 津市一身田上津部田1504-1
Eメール	監 事(若林祥男)
電話 0593-74-1618 fax 0593-74-4268(石薬師公民館)	Eメール sachio@ztv.ne.jp 電話&fax 059-228-1869
住所 〒513-0012 鈴鹿市石薬師町1781-1	住所 〒514-0007 津市大谷町160-5

<p>【教育広報オフィス・グループ】 教育・ホームページ(畠山義啓) Eメール yosshi@ztv.ne.jp 電話&fax 059-265-5770 住所 〒514-2213 安芸郡芸濃町北神山4 1 5 会報・ニュースレター編集印刷(梶美保) Eメール michiru@ztv.ne.jp 電話&fax 059-231-5594 住所 〒514-0116 津市夢ヶ丘1 - 5 - 1 1 会報・ニュー・スレター編集印刷(坂野徹) Eメール adu55380@ams.odn.ne.jp 電話 059-231-7446 fax 059-231-7448 住所 〒514-0102 津市栗真町屋町9 1 3 管理保管(フレックスホテル米倉芳周) Eメール matsusaka@frex-hotel.co.jp 電話 0598-52-0800 fax 0598-52-0140 住所 〒515-0019 松阪市中央町3 6 - 1 8</p>	<p>【事業オフィス・グループ】 ショート ロング ステイ (増田陽一) Eメール massan@mctv.ne.jp 電話 0598-29-1260 fax0598-23-1178 住所 〒515-0814 松阪市久保町1 7 8 2 - 7 生活(大野福代) Eメール kuyo8@gaea.ocn.ne.jp 電話 0593-86-5979 住所 〒510-0254 鈴鹿市寺家1 - 2 9 - 1 2 経済(小山良一) Eメール koyama_d@cty-net.ne.jp 電話 0593-33-7678 fax0593-31-2416 住所 〒510-0807 四日市市末永町7 - 1 0 自然(宮川村) Eメール miyasan@ma.mctv.ne.jp 電話 05987-6-1714 fax 05987-6-1313 住所 〒519-2592 多気郡宮川村江馬3 1 6 スポーツ(飯高町) Eメール soumu@town.iitaka.mie.jp 電話 0598-46-7111 fax0598-46-1092 住所 〒515-1592 飯南郡飯高町宮前1 8 0</p>
---	---

2002年度事業等報告

- 5月18日(土) 第4回定例総会、講演会(三重県地方自治労働文化センター)
- 10月2日~13日 シャクナゲ花ドライブ in NZ 8名参加
- 11月19日(火) タスマニア太鼓実行委員会(略タスマニア実行委)
- 11月23日(土) 日豪協会全国会議 24日(日)実務者会議(熊本市) 21 協会参加 会長他1名参加
- 11月27日(水) 在名古屋オーストラリア領事館設立10周年記念レセプション(名古屋市) 会長他1名参加
- 2003年2月11日(火) 豪日タスマニア協会理事会に出席、Taiko DORAMU
 (タスマニア大学和太鼓クラブ) テスト演奏を視察、その後メンバーと懇談
- 2月13日(木) NZワイタンギ・デー レセプション(大阪市) 宮本由紀子出席
- 3月8日(土) 例会: シャクナゲ花ドライブ in NZ 報告会、
 タスマニア実行委(遊食館 蔵屋 四日市市) 17名参加
- 4月30日(水) オーストラリア大使館教育部留学説明会(アスト津) 宮本、畠山、富田他
 会報 3回発行
 メール配信 希望者に随時

2003年度事業等予定

1. 特別企画: 和太鼓贈呈とホームステイ・ドライブの旅 9月に実施予定
2. 例会 例会1 場所等未定
 例会2 場所等未定
3. 日豪協会全国実務者会議(東京)
4. 会報 数回発行
5. ホームページの運用
6. その他

2002年度会計報告および2003年度収支予算

2002年度会計報告

(自2002年4月1日～至2003年3月31日)

収入合計 918,612円

支出合計 263,712円

2003年度収支予算

(自2003年4月1日～至2004年3月31日)

収入の部			
項目	細目	金額	備考
会費	個人・家族 法人会費	339,000	49,000円(20) * 500 x 2不足 家族100,000円(20) 法人190,000円(19)
諸収入	雑入	12	預金利息 12円
前年度繰越金		579,600	2001年度繰越金
合計		918,612	

収入の部			
項目	細目	金額	備考
会費	個人・家族 法人会費	340,000	個人(20) 家族(20) 法人(19)
諸収入		5,100	預金利息・雑収入
前年度繰越金		654,900	2002年度繰越金
合計		1,000,000	

支出の部			
項目	細目	金額	備考
報償費	講師謝礼	10,000	総会講師 10,000円
役員行動費		15,000	3人(会長他)
旅費		49,380	・関西NZ姉妹都市友好協会 懇談会 12,920円 ・熊本・大阪 36,460円
宿泊費		8,715	熊本
需用費		78,527	・食料費(総会・例会) 18,898円 ・消耗品費 6,821円 ・印刷製本費 52,808円
役務費	通信運搬費	72,325	・郵送代72,020円 ・振り込み料315円
備品購入費		0	
負担金	事業参加負担金	20,000	・熊本日豪協会参加費 20,000円
使用料	会場借上料	9,765	・総会会場9,765円
事業助成費		0	
予備費		0	
合計		263,712	

支出の部			
項目	細目	金額	備考
報償費	講師謝礼	40,000	各種事業の講師謝礼
役員行動費		15,000	役員活動費
旅費		60,000	・講師謝礼を含む ・行事参加旅費
宿泊費		50,000	行事参加に伴う宿泊
需用費		70,000	・食料費(講師茶菓子代) ・消耗品費 ・印刷製本費
役務費	通信運搬費	80,000	郵送料等(切手・葉書代)
備品購入費		35,000	協会事務用品購入
負担金	事業参加負担金	40,000	中部日豪合同セミナー・日本NZ友好協会合同大会・2003年度日豪協会全国会
使用料		40,000	・会場借上料(総会・各種事業)
事業助成費		100,000	各種委員会実施事業に対する一部助成
予備費		470,000	
合計		1,000,000	

3612円 - 263,712円 = 654,900円 654,900円を次年度に繰り越す。
以上の通り、ご報告します。

2003年3月31日 会計 井ノ口節子
2002年度の三重オーストラリア・ニュージーランド協会の会計について、
監査を行ったところ、適正であったので報告します。
2003年5月2日 会計監査 若林 祥男

タスマニア訪問計画

第三回豪NZ訪問の旅～タスマニア 要領(ご報告とご案内)

- お問い合わせ：電話 0593 68 2112 鈴鹿市 宮本由紀子
- 参加者 10人以上になる予定
- 19、20日は、ホームステイを予定。ホテル希望の方は連絡をしてください。
- 旅行申し込みは、7月31日まで。厳守です。

和太鼓贈呈式とタスマニアの旅 ～南極に続く壮観な大海原と自然の造形を鑑賞する旅

期間(飛行機の都合により、多少変更もありうる。) 2003.09.18～30

- 18(木)名古屋A07950 19:55----ケアンズ経由(4:10着 5:45発)
- 19(金)--9:00シドニーQF1713 14:40----16:30ホバード ホバード泊
- 20(土)ホバード----ポートアーサー ・タスマニアアーチ ・負の歴史流刑囚監 ホバード泊
- 21(日) AM 和太鼓贈呈式 11時から 場所 Sir Stanley Burbury Theatre
PM ホバード市内観光 ポノロング野生動物園 リッチモンドブリッジ 負の歴史流刑囚監
リッチモンド泊
- 22(月)リッチモンド----トリアブナ----スワンジー(3:30)
・フレシネ国立公園・東海岸の手付かずの自然・タスマニアワイン&ウールスワンジーまたはコールズベイ泊
- 23(火)スワンジー----ピチノ----セントヘレンズ----ロンセストン(4:00)
・イースト・コースト・ネイチャーワールド・潮吹き穴&御影石公園の街ロンセストン
・カタラクト渓谷 ロンセストン泊
- 24(水)ロンセストン----パースのイオン(旧ジャスコ)牧場表敬訪問 パース泊
- 25(木)クレイドル山 ・セントクレア湖国立公園 クレイドル泊
- 26(金)クレイドル山----ジーハン----クイーンズタウン(3:00) ・鉱山見学 クイーンズタウン泊
- 27(土)クイーンズタウン----ブロンテパーク----ホバード(5:00) ホバード泊

28(日)ヒューオンビレ、エアウオークとホバード市内観光	ホバード泊
29(月)王立ホバード病院またはタスマニア大学見学予定 ホバードQF1714 18:05----19:55	シドニー泊
30(火)シドニーAO7959 7:45 18:05 名古屋	

概算費用 航空券 132,000+税 E T A S 2,000- 空港使用料 2,650- レンタカー 15,000- 宿泊 25,000- 食事 16,000- 等 約 200,000 円を想定しています。

○お問い合わせ；宮本 電話 0593 68 2112

○旅行中の協会連絡先：電話

1. 事業担当者：増田陽一 会計；

2. パスポート、ビザおよび航空券

2-1. ビザは必要です。最寄の旅行社で、オーストラリアの E T A S 観光ビザ
といて取得してください。そのとき、パスポートが必要。

2-2. パスポートは各自で、県庁などで取得してください。

航空券の入手のため、パスポートのコピーを増田さんまで送ってください。

2-3. 航空券は、増田さんが、全員に、関空でお渡しします。

2-4. 旅行保険も各自で考えてください。関空でも手続きができます。

3. 服装、荷物、薬など

3-1. 季節は春です。日本の春と同じです。

3-2. レンタカーで移動しますので、荷物は少なければ少ないほど快適です。

3-3. 服装は普段着、靴は履きなれたもの。

3-4. 夜の寒さ対策に、長袖のセーターなど。

3-5. 薬は各自でご用意ください。

4. 出発当日

4-1. 集合時間と場所：時。関西空港（関空）国際線出発フロアの大韓航空チエツクイン カウンター〔各航空会社カウンターの左端〕

4-2. 最終打ち合わせは関空で行います。

5. ご協力をお願い

5-1. 国際免許証

自動車の免許証を持っている方は、国際免許証をご持参ください。国際免許証の取得は、最寄の警察所におたずねください。

5-2. ホームステイ 19、20 日は、ホームステイを予定しています。ご希望でない方は、ご連絡ください。

5-3. この企画は、参加者の手作りのタスマニア訪問です。

各自の役割分担をお願いします。

タイコ贈呈式で、おどり、日本の歌など、どなたかお願いします。

参加訪問中の不慮の事故などの責任は自己責任となります。

参加者は、下にあります同意書に署名して、宮本まで fax などで、ご送付ください。出発当日、関空で提出していただいても、よろしいです。

【 同 意 書 】

第3回豪NZの旅 タイコ授与式タスマニアの旅 について、当該の旅の趣旨に同意いたします。

・ 氏名、住所そして電話番号

・ 旅行中の国内連絡先

・ 氏名、住所そして電話番号

三重県立松阪工業高等学校 2002 年オーストラリア研修旅行報告

「本校初の海外研修へ」 団長（定時制教頭）富田正宏

本校創立百周年記念事業の一環として実施したオーストラリア研修旅行は、引率教員 2 名・生徒 7 名（全日制 6 名、定時制 1 名）合計 9 名が 7 月 29 日に名古屋空港を出発し、ゴールドコーストを中心とした 10 日間の日程を終えて 8 月 7 日無事帰国しました。

ホームステイを通じて異文化を体験しながら、世界約 30 カ国出身の園児が通う国際色豊かな藤国際幼稚園での園児との交流、広大な敷地で幼稚園から高校まで一貫教育を行うオールセインツ・アングリカンスクールでの 3 日間の授業体験、クルーザー製作で有名なリビエラ造船所の見学、また景観の美しいカランピン・ビーチや、コアラ・カンガルー等の動物たちに自然に近い形で触れ合えるカランピン・サンクチュアリー等々を見学し、充実した研修をしてきました。まず、このオーストラリア研修旅行実現までの経緯を記しておきたいと思います。昨年、更家章太・百周年記念実行委員長（三重同工会会長）から経済的支援のお申し出があったのを契機に、同年 10 月、国際交流委員会が発足し、国際交流事業の具体案の検討を開始しました。メンバーは山本校長、中川全日制教頭、菅原・植村・川崎各教諭、そして私の 6 名です。この委員会から提案し、職員会議・百周年記念実行委員会等の協議を経て、実施されました。

国際交流委員会は、国内外で活躍する本校卒業生のネットワークを活かして、工業高校としての本校の独特色を出した、名実共に百周年にふさわしい短期海外研修を提案しました。日本とは異なる自然環境の中で、ホームステイをしながら高校に通学するといった異文化を体験することによって、広い視野からものごとを考え行動できる国際感覚豊かな生徒の育成を図ることを目指したのです。その結果、多民族・多文化社会であり、日本に対して友好的で、雄大な自然に恵まれたオーストラリアへの研修旅行を行うことになりました。

当初、三重オーストラリア・ニュージーランド協会を通じて、オーストラリア大使館教育部にこの趣旨に沿った現地高校の紹介を依頼しましたが、適当な高校はなかなか見つかりませんでした。幸い三重同工会小島理事のご紹介により、ゴールドコーストで日豪交流はじめ多方面で活躍しておられる、本校全日制機械科 19 回卒業の藤原一昭・藤国際幼稚園理事長の全面的なご協力が得られることになりました。ゴールドコーストは、冬の 8 月でも最高気温 21 ・最低気温 10 と温暖です。また藤原理事長が紹介してくださったオールセインツ・アングリカンスクールは、本校の 8 倍以上ある広大な敷地に、幼稚園から高校までの一貫教育を行っている、生徒数約 1500 名の人気私立学校です。さらにリビエラ造船所は、600 名以上の従業員を有するクルーザー製作所で、工業高校らしい見学先です。お陰で本校の百周年にふさわしい研修旅行になったと思います。

参加費用はその 3 分の 2 近くを、百周年記念事業寄付金の一部と松阪市青少年等国際交流事業補助制度からの補助で賄うことができ、生徒一人あたり自己負担を 10 万円に押さえることができました。今年 2 月、参加申し込みを受け付けたところ、意欲・能力共に十分な 16 名の生徒の応募がありました。定員の 2 倍以上です。3 月に実施した集団面接と作文による選考は難航しましたが、慎重審議の結果、参加生徒 7 名（男子 4 名、女子 3 名）が決定しました。

4 月から参加生徒は事前学習を開始し、7 月までの毎週火曜日に、オーストラリアや松阪市の歴史・文化等の学習、ALT による英会話レッスン等を行いました。5 月には、植村教諭がオーストラリアに飛んで現地調査を行いました。また本校を世界に発信する必要から、英語版『学校案内』も作成しました。6 月には来日したオールセインツの生徒たちと交流会を持ったり、一時帰国した藤原理事長に参加生徒保護者説明会で講演をお願いしたりしました。そして 7 月には、出発に際して野呂松阪市長を表敬訪問しました。

さて事前学習・オーストラリア研修旅行を通して、参加生徒たちは一回り大きくなったのではないかと思います。スピーチを経験して人前で積極的に自己表現することができるようになったり、ホームステイを通して家族とのコミュニケーションの大切さを再認識したり、いつも笑顔を絶やさずおおらかでフレンドリーな生き方に共感して自分も実践したり...

9 月以降は事後報告として、この報告書の他、ホームページのダイジェスト版を全日制・定時制各ホームルーム教室に掲示すること、11 月の松工祭（文化祭）で展示発表を行うこと、再来年の第 2 回研修旅行につなげるため、特に 1 年生に対して報告会を行うこと、英会話レッスンを継続すること等を計画しています。そして、海外研修の実施を機に、本校全体で国際理解教育に取り組んでいきたいと考えています。

この本校初の海外研修の継続・発展を目指して、更家三重同工会会長はじめ有志の方々のご支援により国際交流支援基金を創設しました。この基金をもとに 2004（平成 16）年度には第 2 回海外研修を実施します。そしてその後も同工会有志の方々のご支援により隔年実施し、生徒が本校在学中に参加できる機会を保障していけたら有難いと思っています。

研修体験レポート集

「G'day mate! I'm excellent!!」 自動車科 3 年 平野真希
一日目



今回のオーストラリア研修旅行での第一日目は松阪駅に3時集合。特急で名古屋駅に向きました。そして名古屋駅からバスに乗り名古屋空港まで行き、名古屋空港はすごく綺麗な所でビックリしました。しばらく休憩をとってからオーストラリアケアンズ行きの飛行機に乗り、いざオーストラリアに向かいました。機内では英語の勉強をしたり音楽を聞いたりして結構充実した時を過ごせたと思います。でもかなり疲れしました。

二日目

ケアンズ空港に到着した僕達はプリズベン行きの飛行機に乗り換え、プリズベンまで向かいました。プリズベン空港ではツーリストの大沼さんという方が出迎えてくれて、大沼さんの車で藤国際幼稚園まで約1時間半かけて連れてってもらいました。藤国際幼稚園に到着、そして久しぶりに藤原さんと対面し、藤原さんの園長室でホームステイの注意事項や藤国際幼稚園についても沢山話を聞きました。次に園児達と遊んで、初め園児達と接する時はかなり緊張していました。緊張した原因は英語が話せないからヤバイ！と思ったからです。園児達と折り紙やげんこつやまの狸さんをしたりして遊びました。4時になり園児達ともお別れをして、オールセインツアングリカンスクールに向かいました。そこにはビル・アドラー校長先生とホストファミリー達が出迎えてくれていて、ホストファミリーに自己紹介をし、家を案内してもらいました。家は学校からとても近くて学校の中にあるのかと思うぐらいでした。

三日目

この日朝起きたらとても寒かったし、初めてのオーストラリアで初めての朝と昼と夜のギャップにすごく驚きました。それから学校に行くとき見知らぬ人がいて、彼はベンといって今回僕達のためだけに英語を教える先生でした。ベンに学校をいろいろ案内してもらいました。この日は運動会で皆、色別にチームがありました。中には髪の毛をカラフルな模様にしたり、変わった衣装を着たりしている子もいました。それからベンの英会話レッスンが始まり、この日勉強したことは「How do you do?」と聞かれた時の応答で、僕達が今まで学校で習っていたのは「I'm fine」だったけどベンはそれじゃあコンピューターみたいな決り文句でダメだ！と言っていました。ベンが言うには、「I'm great!」の方がいいと言うことで、結構勉強になりました。それからは運動会をずっと見ていました。

四日目

この日もベンの英会話レッスンがあって、ベンは本当に日本語がペラペラで、すごいなと思いました。日本語は難しいと聞いたら、まあまあ難しいと言っていました。ベンはこの学校で小学校から日本語を勉強していたそうです。だから今、日本語がペラペラなんだと言っていました。そして英会話レッスンが終わり、次に日本語教室に行きました。そこでは生徒達が日本語で授業をしていて、授業の一環として生徒達が僕達に日本語で「歳、名前、趣味」などの質問をしてきました。僕はこの時「これが国際交流っていうやつなんや」と思いました。そして学校が終わり家に帰りました。でも家には誰もいなくて僕達は何をしていいのかわからなくてぼーとしていたら、ホストファーザーが帰ってきて、体育館にバスケットをしに行こう！と言い僕達はAll saintsの体育館でバスケットをしました。多分こっちに来てから野菜をたくさん食べたおかげだと思うが、久しぶりに体を動かしたけど、体の調子がすごく調子でいい。ヤッホーイ！！

五日目

この日もベンの英会話レッスンをしました。この後に中学生のクラスに行き一緒に授業を受けました。この日の授業は、生徒が僕達に日本の位置や地震は何回くらい起きるのかなどいろいろな質問をしてきたし、僕からも趣味は何？とか歳は？など簡単な質問だったけどたくさん話せたと思います。1日1時間を過ごしたと思います。次に幼稚園と小学生の間にあるクラスがあってそこで子供達と遊びました。折り紙を折ってあげたら、次々に子供達が「鶴折って！船折って！飛行機折って！」と迫ってくるから僕はもうてんでこまだったけど、結構楽しかったです。

六日目

この日はAll saintsでフェアーといって3年か4年に一度あるお祭りみたいなのが学校で開催される日でした。簡易遊園地、食べ物屋さん、学生のバンド、お化け屋敷など多種多様なイベントが開催されていました。学校がこれだけのものをするのはすごい！と思いました。さすがの我が松阪工業でもそこまでは出来ないし、日本全国探してもそこまでするような高校は多分ないと思います。そして夜になりフェアーの最後を飾る花火が7時30分から打ち上がっていて、結構綺麗で良かったと思いました。

七日目

この日は朝、ホストファーザーに送ってもらい藤国際幼稚園に集合しました。次にカランピンビーチに行き少しビーチで遊んでからカランピンサンクチュアリーへ行きました。カンガルー、コアラ、ワニ、変わった生き物もたくさんいました。次にサーファーズパラダイスに行く前にもう一回カランピンビーチに寄って皆で軽く海の中に入って写真とかも撮りました。すごく綺麗な海で驚いたのをよく覚えています。そして僕達はサーファーズパラダイスに行って買い物や見物をしてきました。そして藤国際幼稚園に戻ってホストファミリーの迎えを待ちました。家に帰ってからホストブラザーにブーメランの投げ方を教えてもらいました。でも教えてもらった投げ方より自分で考えて投げた方がよく飛ぶから、ホストブラザーが「逆に教えてもらっちゃったよ！」ってっていました。そしてホストブラザーが僕のブーメランを投げたら着地した時にパキンッと折れてしまいました。家に帰り夕ご飯を食べてからラグビーの観戦に行き、初め僕はすごく大きいスタジアムで見るのかなあと思っていたけど実際行ってみたら大学生同士の試合で普通の芝生のあるラグビー場でした。でも試合は日本 VS オーストラリアで結果は日本の負けやったけど、すごく白熱した試合で見ているこっちの方にもボールが飛んできたりしてすごい迫力でした。とてもよかったです。今日の夜は外気温9度で

した。

八日目

この日も朝、藤国際幼稚園に集合しました。この日はリビエラポート製作所に行き、リビエラでたくさんボートを見たり、中には一台何億もするようなクルーザーもあってビックリしました。次に行ったところはスポーツスーパーセンター、ここはいろんなスポーツ選手が合宿をしたりするところだということです。そしてここで昼ご飯を食べることになり、バイク形式で昼ご飯を食べました。さすがプロのスポーツ選手が使う場所だけあって食事栄養バランス満点でした、でも紫色の四角い食べ物は皆に不評でした。お昼ごはんを食べ終わってから陸上のトラックを見に行きました。ここで先生達が走れ走れと言ってきたので昼ごはんを食べたばかりなのに400mトラックを走りました。長袖を着ていたのが暑苦しかったです。次に市長舎へ行きゴードンさんの話を聞いていました。でもよく分からないことを話しているので僕はすごく眠かったです。ゴードンさんからお土産として、いろんな物が入った袋をもらって帰りました。そして昨日と引き続きサーファーズパラダイスに行きショッピングをしました。僕はここで変わった民族楽器らしきものを買いました。それから藤国際幼稚園に戻りお別れパーティーの準備をしました。そしてここで夕食を食べて、最後に沼田先輩がすてきなスピーチをしてくれ、さすが会長だと感心しました。

九日目

この日でホストファミリーともお別れです。身支度を整えて送ってもらおう間しばらく待っていました。そうするとホストマザーが会社に行く時間になり、僕達に挨拶をしにきました。僕達もこの一週間お世話になりました！とお礼を言いきやりました。そしてホストファミリーが、そろそろ行こうかと言い僕達はホストブラザー達にお別れをしました。藤国際幼稚園まで送ってもらって、そこでホストファミリーともお別れをしました。この日は大沼さんがブリスベンのホテルに僕達を送ってくれ、ホテル到着後さっそく部屋の鍵を渡され各自自由行動となりブリスベンを皆でぶらぶら歩きながらショッピングをしました。たくさんお店があり結構日本人観光客もいっぱいいました。そして集合時刻になりホテルに戻って夕食を皆で食べ、夕食は肉の量が多くて全部は食べ切れなかったです。それから部屋に戻り皆でUNOをしながら楽しく遊びました。

十日目

この日は朝5時30分からブリスベン空港に行って、ケアンズ行き7時20分発の飛行機に乗り込みました。9時35分にケアンズ到着、自由時間があつたので友達や親戚、家のお土産をここで買いました。そしてオーストラリアドルから日本円に両替をしてから名古屋空港行き11時50分発に乗り、機内ではぐっすり寝ました。そして18時に名古屋空港に到着、空港バスにて名古屋駅まで行きました。20時02分の特急で松阪駅まで1時間8分かけて行き、松阪駅には校長先生や保護者の方、先生などいろんな方々が迎えてくれていました。そして皆一人ずつオーストラリアで学んだことや体験したことを簡単に報告し、解散しました。今回のこのオーストラリア研修旅行に参加できて本当に良かったと思います。嫌なことも多々あったけど、いいことも楽しい事もその倍ぐらいありました。もう全部ひっくるめて良い体験が出来たと思います。この研修旅行が出来たのも、先生方や同工会の方々、そしていろんなバックアップをしてくれた人達のおかげです。本当に感謝しています！ありがとうございました！！Thank you very very much!!!!!!

「私のホストファミリーと学校」 定時制普通科4年 津村奈央

私が今回お世話になったホストファミリーは、とても親切で明るく楽しい家族でした。この家はお母さんと高校生の娘Chloeの二人暮らしで、そこに私と七美さんが行き女ばかり4人になってしまいました。

最初は何を言っているのか分からないことばかりで、自分の言いたいことを何一つ言えなかったけど、ママが本屋で辞書を買ってきてくれて、身振り・手振りで分からないことは、その辞書を使っていろいろと丁寧に話をしてくれました。そのおかげで、夕飯の時には4人で今日あったことなどを話して大笑いしたり、テレビを見ながら好きな歌手の話やテレビ番組や映画などの話をしたり、スポーツ番組を見ながらみんなで応援したりできるようになりました。

Chloeの学校オール・セインツへは、一緒に3日間通いました。そのうち、2日目の内容を紹介します。まず英語の授業を受けました。ここで習った英語は、日本で習うのと違って理解しやすく、すぐ覚えることができました。英語の授業の後、「モーニングティー」という時間には、みんなで外へ行きお菓子を食べたりしました。

その後、私たちは11年生と12年生の日本語のクラスの見学させてもらいました。まずは12年生。驚いたことに日本語の授業だけあって、ほとんど日本語ですすめられていました。その後、11年生の授業。11年生の授業は見ただけでなく、少し参加できました。生徒たちが日本語で質問し、それを私たちが日本語で答えるのです。みんな簡単な会話なら日本語でできました。

日本での英語の授業は、ほとんど日本語で進められ、英語で授業が進められるということではなく、その分覚えにくいし、何を習ったか分からないときがありました。こういう授業の進め方だったら覚えやすいだろうなと思いました。す



ごく効率のいい授業内容だと感心しました。ランチの後、工業技術の授業をのぞいてから、遊びながらの英会話レッスンを受けましたが、何回かやっているとは知らないうちにけっこう分かるようになっていました。

次は美術。各自が作品を作っていて、私たちも参加することができました。なんか1日がすごく短く感じました。それほど自分には楽しかったし、なんか学校が楽しく、勉強という感じより、気づいたら覚えてるって感じでした。日本もオーストラリアのようになればいいのにと思いました。そしたら、勉強が嫌いとか考えずに楽しく学ぶことができ、自分のやりたいこと、好きなことができるから。日本では勉強が楽しいという感じではなく、自分のやりたいことがなかなかできないことが多い。もっと、自分のやりたいこと、好きなことが自由にできるようになったらいいのに、というのが体験した感想です。10日間という短い間だったけど、家族の一員として迎えてくれて、お母さんのように心配してくれたり、とても優しい人たちに会えたことを感謝しています。今回私が出会った人たちは、みんな親切で、優しく接してくれました。本当にいい人たちに会えました。

ウェリントン紹介（一部）

ダンカン・フレックさん（飯高町外国語助手、NZ ウェリントン出身）

飯高に住んでもう少しで3年がたちます。私は、ここがとても好きです。川、山、人々、そしてここでの私の暮らしが日本の好きなおところです。（私はここにしか住んだことがありませんから）私は町の2つの中学校と4つの小学校で教えています。共に英語を教えています。僕のこと、特にNZのものも教えています。私の父はNZ人ですが、母はイングランド人です。NZでは、こういうことは一般的ではありません。本当は、80%のNZ人はイギリスから先祖が来ているのですが、両親や祖父母、多くの場合は、祖父母の代より前の人たちが、1800年代にイングランドやスコットランド、アイルランドから来ました。ほとんどの人はより良い生活のために移住しました。移住が始まったのは、150年前、イギリスがNZを植民地に始めてからです。この移住はNZにめざましい影響を与えました。NZで英語が話されたり、ほとんどの伝統料理がイギリスのものであったり、司法や国会の制度がイギリスと同じであったり、NZ人がラグビーやクリケットが好きなのは、この時期の影響なのです。もちろんNZはイギリスと違って、独特のものもたくさんあるのですが、NZの歴史や特性は、いつまでもイギリスとつながっているのです。



私はウェリントンで育ち、地元の学校、大学を出ました。家族は今もウェリントンに住んでいます。最近のウェリントンは、私が育ったときよりも、観光するのにもおもしろい所となりました。私が小さかったときは、南島と北島のドライブのために通るぐらいで、ウェリントンに住む誰かを訪ねるとき以外は特にとまることはなかったでしょう。でも今ウェリントンには、たくさんのカフェやレストランなどがあり、イベントが行われたり、展覧会やスポーツや映画、ショーを見ることができます。映画「ロード・オブ・ザ・リング」のプロデューサー、ピーター・ジャクソンはウェリントン出身で、今もウェリントンに住んでいます。

1840年代、ウェリントンにイギリス人が住み始めました。この土地は、マオリ人から事実上獲得されました。その当時からウェリントンは、イギリスにとって、統治するための重要な町だったのです。この町は重要な港となり、また政治、商業、芸術の中心地となりました。ウェリントンはオークランドのように大きくないですが、NZの首都です。ウェリントンには35万人が住んでおり、主にイギリス、そのほか中国、インド、太平洋の島々から来た人々やマオリ人で構成されています。

NZに住んだ最初の人々はマオリ人で、彼らはイギリス人が来る何世紀も前からウェリントンに住んでいました。さらに言うなら、昔からマオリ人がNZの歴史の中心人物なのです。それにもかかわらず、20年前まで、この国の文化や歴史はイギリス、ヨーロッパ人のことに偏っていました。マオリ人がイギリス人のNZでの定住を許したのですが、イギリス人は統治や言葉、自治権など、優位な立場にたったのです。

20年前からこのような状況は少しずつ変わっています。日本の歴史も偏ってはいないでしょうか。多くの韓国人、ブラジル人の立場を考えるべきではないでしょうか。

2003年5月25日 日本ニュージーランド協会中部協議会報告

場所 三重県飯南郡飯高町 ホテル スメール りんどうの間

時間 8:30~9:45

出席協会 富山、飛騨高山、岡崎、名古屋、静岡県、雄踏、三重

1 協会紹介と過去二年間の各協会の活動状況（報告） 出席協会から、過去二年間の報告がなされた。

2 中部協議会のパートナー・シップ（協力）とコラボレーション（協働）について（協議）

1) 三重からの提案理由

各協会のもっているエネルギー、アイデア、蓄積そして情報を、協議会構成員に、合理的に反映させるとともに、中部協議会の発展をはかる。

2) 協議

情報交換の緊密化 e mail などを積極的に活用する。

事業などの共同化 事業には、旅行、スポーツ大会、バザー、募金など、事業化できるアイデアのすべて含む。

協議会の常置事務局の設立

中央集権的になる、時期総称などの意見とともに、こうしたことを考えるときが来ているのかもしれないという意見があった。なお、オーストラリアでは、2001年から、全国協会の本部を設置、連合に踏み出した。三重の提案理由事務局は一つ。協議会の文書の管理、事業等の総括。文書のペーパレス化。会議のネット化。中央集権ではなく、各協会独立。各協会の発展とともに、協議会の発展をめざす。

3) 次回開催幹事協会について (協議)

名古屋日豪ニュージーランド協会が立候補、全会一致で承認。

4) その他

飛騨高山の森下さんから、昨年の日豪協会熊本会議議事録の訂正問題など、全国会議のあり方についての問題提起があり、今後、この問題意識を中部協会にバックアップしてゆくことを話し合った。

最近の話題から

ロード・オブ・ザ・リング

この頃は「ハリー・ポッター」シリーズが大人気ですが、あらゆるファンタジーの原点として文学史上に燦然と輝く「指輪物語」、英国の言語学者トルキンによるこの剣と魔法のドラマチック・ストーリーを完璧に映像化した超大作「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズ3部作も、ついに来年春公開の「～王の帰還」で終幕となります。重厚なストーリーはもちろん、最新のVFXを駆使した映像は圧巻で、2作続けてアカデミー賞の視覚効果賞に輝いています。NZのロケ地を巡るツアーも人気のようです。「ロード・オブ・ザ・リング」「～二つの塔」はビデオ/DVDが好評レンタル中です。

球体遊具「ゾーブ(Zorb)」

今年2月22日放送の「世界・ふしぎ発見!」NZ編で御覧になった方もいるかもしれません。悲鳴と共に丘を駆け下りる奇妙な球体「ゾーブ」。群馬県宮城村の「赤城高原牧場クローネンベルク」に今春から登場しました。直径3.2mのビニール製ボールの中に、もう一つボールが入っていて、この中に人が入り、全長約90mの斜面を転がり下りていきます。スピードが増すと、中に入った人間は、乾燥機に入った衣類のようにグルグル回りっぱなし。本家NZのロトルアでは、水を加えて一味違った体験も。バンジージャンプ、逆バンジー、バンジースキー等々、NZ人はスリルいっぱいのアクティビティを考え付くのが得意のようです。

ラグビーW杯

いよいよ10/10からオーストラリア(以下、豪)で第5回ワールドカップが開催されます。(11/22まで)当初は豪NZ共同開催の予定でしたが、NZのスタジアムのシートの関係で豪単独開催になったとか。今回日本は、10/12のスコットランド戦に始まり、フランス、フィジー、アメリカと、5カ国ずつ4組に分かれた1次リーグを戦います。豪、NZはもちろんシード国。アジアNo.1の日本ですが、'99年大会は3戦全敗。先日のイングランドとのテストマッチ2戦も連敗でした。

(ちなみにイングランドは北半球と南半球2チームに分かれて交流試合をしており、先日、あのNZオールブラックスが南半球チームに敗れたそうです。案外イングランドが今年の優勝候補だったりして。)予選4試合中3試合の舞台は酷暑のタウンズビル。宿の壁にトカゲが這う亜熱帯で、とても暑く、湿度も高いそうです。北の民、スコットランド人には恐怖の土地。せめて1勝を期待したいですね。

< 事務連絡 >

会費未納の方は納入をおねがいします。
百五銀行津市役所出張所
ミエゴウエヌゼットキョウカイ 82920
太鼓の募金はこちら。
郵便振込み口座番号 00800 - 5 - 63755
新たにEメールでの配信をご希望の方
& fax0593 - 68 - 2112 宮本まで。

< 編集後記 >

不慣れなため発行が大変遅くなりました。宮本先生、長川さん、畠山先生他ご協力ありがとうございました。飯高の自然、太鼓、料理みな素晴らしかったです。
(梶)

